

ごみをへらすために

ねらい・目的



【社会科として】

- ・地域における家庭や学校、商店などから、どのようなごみがどのくらい出されているのか、またそれらをどこでどのように処理しているのかを具体的に調べ、生活環境を維持するためにごみの処理が果たす役割や意味を考えることができる。

【環境教育として】

- ・ごみを減らす工夫について具体的に考え、取り組もうとする。

取り組みの背景として



ごみの増加が、地球温暖化の一因となっています。

このままだと

ごみを収集したり、運搬したり、処理したりすることで、エネルギーを使い二酸化炭素の排出量が増加し、さらに、ごみを埋め立てる土地が不足する問題も出てきます。

だから

「ごみの種類と量、その処理方法」を学ぶことで地球環境を守るために“ごみを減らす意味や方法”が分かるようになります。

取り組み項目(実施方法)



取り組み1 学校や家で、どのような種類のごみがどのくらいでなのか調べよう(2時間)

○実際に学校のごみを集める活動を通して、ごみの量を実感し、それらを種類ごとに分ける活動を通して、ごみの分別の仕方を知るように構成する。

- ・教室だけでもこんなにたくさんのごみが出るんだね。
- ・学校全体だとすごい量だね。
- ・ごみは、燃やせるごみと燃やせないごみ、大型ごみ、資源ごみなどに分けることができるんだね。

家のごみも調べてみたいな。



ポイント

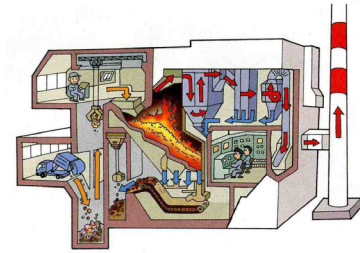
札幌市民一人が出すごみの量が1日630gであることから、札幌市全体のごみの量や種類を考えられるようにするとよい。

こんなにたくさんのごみが出るんだ！

取り組み2 ごみをどのように処理するのか調べよう（3時間）

○ごみが清掃工場でどのように処理されるのかを調べる活動を構成する。

- ・燃やせるごみは、清掃工場に運ばれて、こんなふうに燃やされるんだね。
- ・燃やすことで、大きさが17分の1、重さが5分の1になるんだね。
- ・燃やした後の灰は、うめたて地に運ばれるんだね。



○燃やせるごみ以外のごみがどのように処理されるのかを調べる活動を構成する。

- ・燃やせないごみは、うめたて地に運ばれるんだね。
- ・大型ごみは、はさい工場小さくしてから処理するんだね。
- ・資源ごみは、資源選別センターやリサイクルプラザに運ばれて生まれ変わるんだね。

ポイント

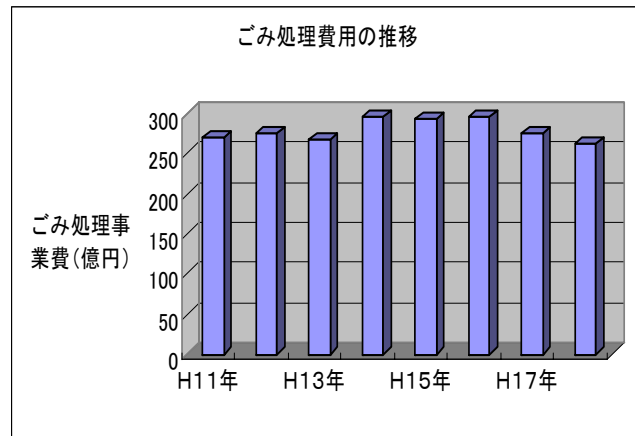
できるだけ清掃工場や資源選別センター、リサイクルプラザなどの見学活動を取り入れ、ごみ処理について理解が深められるようにするとよい。

ごみは種類ごとに処理の仕方がちがうんだ！

取り組み3 ごみを処理するのにどのくらいの費用がかかるのだろう（1時間）

○ごみを処理するための費用の移り変わりのグラフを提示して、ごみを処理するためにたくさんのお金が使われていることに気づき、その理由を考えるように構成する。

- ・1年間に263億円もかかるんだ。
- ・毎年これだけのお金を使うって大変だね。
- ・ごみを処理するお金には
 - 働く人のお金
 - ごみを集めるお金
 - ごみを燃やすお金
 - ごみをうめるお金
 - ごみをくたくお金
 - ごみをしげん化するお金があるんだね。



ごみの量がへれば、お金を少なくできるのかな。

ポイント

グラフの読み取りから、札幌市ではごみを処理するために、たくさんのお金を使っていることがわかるようにするとよい。

ごみを処理するのに、たくさんのお金がかかるんだ！

取り組み4 どうしたらごみをへらせるのか考えよう（3時間）

○レジ袋の使用など、具体的な事例を取り上げて、どうしたらごみを減らせるのかを考え自分なりのアイデアを「ごみダイエット作戦」のポスターにまとめる活動を構成する。

- ・レジ袋も使い終わるとごみになるんだね。
- ・買い物かごをもっていくとレジ袋を使わなくてもいいね。
- ・おしゃれな買い物袋（エコバッグ）もあるよ。
- ・レジ袋を使わないとポイントがもらえるよ。
- ・こうやって工夫すると、ごみをへらすことができるんだね。
- ・レジ袋の他にも工夫できることがありそうだよ。
- ・びんは洗うと何度でも使えるよ。
- ・新聞は資源回収に出すと、トイレトペーパーになるよ。
- ・包装を簡単にするとごみをへらせるよ。
- ・ペットボトルを資源回収に出すと、フリースの服や玉子のパックになるよ。
- ・給食の野菜くずを捨てずに肥料にしているよ。



ポイント

学習したことをもとに、自分の生活をふり返り、ごみを減らす方法を考えてポスターにまとめるようにするとよい。

ごみをへらすためにできることがたくさんあるんだ！

取り組み効果



効果 1 ごみ処理の仕方がわかる

ごみ処理の仕方について知ること、ごみを処理するためにたくさんのエネルギーが使われていることに気づく。

(社会科という教科の学習でしっかりとした知識を身に付ける。)

効果 2 ごみを減らす方法を考える

子どもがごみを減らす方法を考えることで、少しでも家庭での実践につなげていくとともに、将来的に子どもたちが社会の中での実践者となるような資質を身に付ける。

他のプログラムとのつながり



■牛乳パックリサイクルを考えよう（小学校編）

牛乳パックリサイクルを通じて、森林資源の保護や節水などに目を向ける。

■「ごみ」と「資源」の再発見（家庭・地域・職場編）

地域ぐるみで集団資源回収などのごみ減量に取り組み、行動を定着させる。

★総合的環境副教材

3・4年生用 1 わたしたちのくらしとごみ

参考資料等



1 「札幌市のごみ」のことがわかる清掃ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/seiso/>

2 「清掃工場」のことがわかる白石清掃工場のホームページ

http://www.city.sapporo.jp/seiso/sikumi/sirosi_kozyo_index.html

3 「環境」のことがわかる環境保全のホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/>